

## 県南地方の観光資源「狛犬」について

近年、芸術性の高い「狛犬」への関心が集まり、新たな観光資源として注目されています。

県南地域には、小松利平・寅吉親子やその弟子小林和平（ ）により明治から昭和にかけてつくられた芸術性の高い「狛犬」が多数存在します。

福島県県南地方振興局では、県南地方の観光振興を図るため、「狛犬」を調査し、結果をまとめました。

なお、調査は東日本大震災前に開始しましたが、震災により未調査のところも多く、これ以外にもすばらしい「狛犬」が存在します。

( )

小松利平

高い石工技術があった高遠藩(現長野県)を脱藩し、浅川町に居を構えた石工。

小松寅吉

小松利平に弟子入りし、後に養子となった。狛犬を芸術にまで上げた石工。

小林和平

小松寅吉の弟子。寅吉の技術を受け継ぎ、寅吉同様、芸術にまで開花させた石工。

# 白河市

## 春日神社(かすがじんじゃ) 白河市大信隈戸字日渡

鳥居前にある狛犬の凛々しさは見事であり、狛犬の状態もかなり良好と思われる。その一方、社前にある狛犬の奇妙さに驚かされる。いつ作られたのか、どのような生物をベースにしたのか一切不明。不可思議さという点では県南随一の狛犬。



# 白河市

## 熊野神社(くまのじんじゃ) 白河市大信下小屋

県指定重要文化財である下小屋熊野神社御正体六面がある。文化財を実際に目にする事は出来ない。鳥居前にある狛犬は勢いのあるものだが、社前にある狛犬の奇妙さと言ったらない。どんな生き物をベースにしているのかも不明。その奇妙な狛犬は、日本一脚の短い狛犬としてマニアには知られている。



## 諏訪神社(すわじんじゃ) 白河市飯沢

石工・小松寅吉の影響を受けた白河市横町にいた石工・野田平業による狛犬。しかし、鮫川村八幡神社にある同氏による狛犬と比べると荒い。想像するに初期の狛犬と思われる。



# 白河市

## 鹿嶋神社(かしまじんじゃ) 白河市東下野出島坂口

市指定重要文化財、信夫郡(現福島市)の彫刻師、平間弥助が掘った神殿が納められている。昇り龍、下り龍が対をなしている。文化財以外にも、小松寅吉による、寅吉最高傑作との呼び声も高い狛犬あり。平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、灯籠破損多数、狛犬が台座より折れ落ちた。



# 白河市

## 都々古和気神社(つつこわけじんじゃ) 白河市表郷三森

御祭神：味耜高彥根命 日本武尊

棚倉町馬場都々古和気神社の原鎮座地としての伝承がある古代祭祀の遺跡としての建鉾山山頂には建鉾石があり、この岩の下部は巨大な母岩が続き、更に山腹までのびた典型的な神奈備山の山容をなして、神が降臨するにふさわしい盤座・石神である。神が降り給う岩座の前に、くさぐさの供物をささげ祭祀をおこなった神道祭祀の遺跡であり、古代の聖地をそのまま現在の神社の神域となっている。(案内板より)

野田平業によると思われる重厚な造りの狛犬(製作年不明)。  
東日本大震災により、吽像狛犬破損。



# 白河市

**羽黒神社(はぐろじんじゃ)** 白河市表郷御殿ケ入

道路から鳥居が見える(約100メートル)。本殿の宮大工による彫刻は見事。



# 白河市

## 羽黒神社(はぐろじんじゃ) 白河市借宿新地山内

小松寅吉による狛犬。鳥居前左手に、松平定信の歌碑を囲った石柵あり、狛犬同様に小松寅吉によるものだが、その彫刻の芸術性の高さ、細かい所までのこだわり、機械もなく掘り上げたその技術の高さに驚かされる、寅吉作の中でもかなりの奇作。



# 白河市

## 境の明神(さかいのみょうじん) 白河市

江戸時代、安政3年(1856年)に作られた狛犬。



## 社八幡神社(やしろはちまんじんじゃ) 白河市

市の文化財。宮大工による立派な本殿あり。





# 白河市

## 金毘羅神社(こんびらじんじゃ) 白河市九番町

情報によれば、小松寅吉初期の狛犬あり。  
また神社がある風神山も歴史的にも面白い所という情報もあり。

## 八雲神社 白河市久田野

情報によれば、小松寅吉の狛犬あり。

## 国津神社(くにひこじんじゃ) 白河市東深仁井田

浅川町の石工・梅沢敬明、智明による獅子舞のような顔の狛犬。

## 坂本観音(さかもとかんのん) 白河市東下野出島

小松寅吉による雌馬の彫刻。東日本大震災により脚部が粉々に砕けた。

# 西郷村

## 小田倉神社(おだくらじんじゃ) 西郷村小田倉

この神社には、天然の岩に直接掘られた狛犬がある。大変珍しい狛犬であり、その形相たるや、邪気を食うかのごとき物凄い迫力がある隠れた名狛犬。昭和廿五年、定吉(正吉?)作。また、神社奥にある巨岩にも人面岩のように掘られてある。



# 西郷村

## 永倉神社(ながくらじんじゃ) 西郷村長坂

御祭神：伊弉諾命

永倉神社は、文徳帝の斉衡2年(855年)官社に列し延喜式神名帳(927年)に載る白川郷七社の一つである。

今より1120年前といえ世は平安初期で、唐文化が着々国風に定着しようとしていたとはいえ、地方への浸透は遅れがちであった。

そのころ、都を遠く離れた当長坂にこのような社格の神社が祀られているという歴史の古さと共に誇らしさを感じるのである。

長坂はもと永倉であり、永倉は長畔の転化ともいわれるから、農耕集落の発達が多かったのであろう。

明治2年(1869年)山火事の類焼にあい、社殿及び宝物什器等消失し、往時の風格は失われたが、その由緒により当時の歴史を偲ぶことができる本村最古の神社である。(社前案内板より)



# 中島村

## 川田神社(かわたじんじゃ) 中島村川原田

小松寅吉による飛翔獅子型狛犬。大胆に空を滑空するオリジナリティ溢れる構図。狛犬の状態も良好。本殿は木柵で囲われて見にくいですが、宮大工による装飾が見事。



# 中島村

**白山比咩神社(はくさんひめじんじゃ)** 中島村大字松崎字堂ノ入

御祭神：白山比咩大神 いざなぎ神 いざなみ神

階段を上っていった山の上に小さな社があり、境内はとても静か。山の崖には、鎌倉室町時代に掘られた磨崖仏(まがいぶつ)郡がある。福島県南地方には、磨崖仏郡が多々あるが、その中でも白山比咩にある磨崖仏郡は中通り地方では最も古い。



# 中島村

## 羽黒神社(はぐろじんじゃ) 中島村滑津裏羽黒

小林和平による、後ろ足をピンと伸ばした狛犬。その狛犬の前に近年作られた狛犬があるが、ある意味、比較の対象となる。社前には、戦勝祈願と思われる馬の石彫刻もあり、本殿の宮大工による彫刻は川田神社同様見事。



## 善通寺(ぜんつうじ) 中島村滑津裏羽黒

小林和平による地蔵菩薩。  
中島村羽黒神社すぐそば。善通寺には、有名なしだれ桜もある。

# 矢吹町

## 矢吹神社(やぶきじんじゃ) 矢吹町中町

作者は不明だが、鯨川村八幡神社にある野田平業による狛犬同様、毬の中をくり抜き、その中に玉があり、その技術の程を感じられる狛犬。



# 矢吹町

## 八幡神社(やはたじんじゃ) 矢吹町根宿

作者不明の飛翔型獅子。恐らくは小松寅吉門下だろうと思われる。後ろ足が完全に宙に浮いた状態の力作。震災以前より、吽像の飛び狛犬が台座から落ち壊れていた。社は大きく、本殿は装飾がカラーになっている。





# 棚倉町

## 鐘鑄神社(かねいじんじゃ) 棚倉町一色

近年、狛犬マニアにより注目されている。長年住んでいた地元住民にすら知られてなく、小林和由による狛犬はかなり苔むし、狛犬から雑草が生えていた。鐘鑄神社のある一色は和由の妻の出身地。境内には高床式の倉庫のようなものがあるが、これは棚倉町福井、玉野、一色、浅川町箕輪の四地区で、「お柁明神柁送り」という行事があり、4年毎の旧暦10月17日にご神体の3個1組の柁をその年の当番組から次の当番組へ送るとのこと。その折、柁は自分の組の鎮守の境内に建てた高床式の小屋に祀る習わしがあり、この高床式の小屋はその為のものだった。(参考文献 WEB：神社探訪 狛犬見聞録)  
お柁明神柁送りは福島県重要無形民俗文化財である。



# 棚倉町

## 都都古別神社(つつこわけじんじゃ) 棚倉町大字八槻

御祭神：味耜高彥根命 日本武尊

同町内に同名神社があることから、八槻都都古別と呼ばれている。江戸時代、天保11年(1840年)に掘られた小松寅吉の師匠である小松利平作と思われる不思議な狛犬が印象的であり、その狛犬は、県南狛犬ベスト3とすら呼ばれている。



## 都都古別神社(つつこわけじんじゃ) 棚倉町字馬場

御祭神：味耜高彥根命 日本武尊

同町内に同名神社があることから、馬場都都古別と呼ばれている。

# 鮫川村

**熊野神社(くまのじんじゃ)** 鮫川村赤坂西野名下

小松寅吉による飛翔獅子型狛犬。東日本大震災による被害はない。



# 鮫川村

## 八幡神社(やはたじんじゃ) 鮫川村赤坂中野道少田

御祭神：誉田別命

1057年、源頼義が戦勝祈願のために建立したと伝わる。1651年には、天下泰平、国土安全、当国当处万民豊穰のために新しく建てるとあり、当地の当地方の人々の安泰・豊穰が祈念された社。(鮫川村史より)

白河市の石工・野田平業による狛犬。製作年不明。特徴的なのが毬。一つの石から、毬の中をくり抜いてあり、なおかつその中に球が存在する。狛犬としての保存状態もすこぶる良い。



# 鮫川村

## 諏訪神社(すわじんじゃ) 鮫川村

御祭神：建御名方命

氏子は塚本全域。旧7月23日が祭礼日であったが、現在は10月1日。天正年間、信濃より分霊した社。境内には、稲荷社、八坂社、最上社、北野社、秋葉社等の末社がある。(鮫川村史より)

狛犬の石工は不明

